

満喫！むらさき幼稚園

だいだいのくみ　☺☺　☺

☺は2歳のときからプレイルームに通う、根っからの？むらさきっ子です。プレイルームに通っているときに印象的だったのは、長門先生に「☺☺さん、〜くんのときと全然違うね、☺ちゃんすごくのびのびと自分を出せていていいね」というニュアンスのことを言っていただき、私、そんなに違うかな…！とびっくりし、でもとても嬉しかったことを覚えています。☺は本当に、そのときから自分のしたいことをのびのびと楽しんでて、私もゆったりした気持ちで関われていたのかなと思います。

長門先生に言われたように、上の子の〜には、「過干渉な母親」というレッテルが貼られそうなほど関わっていた気がします。そして関わらないといられないような繊細なところのある子（でも変なところで大胆）だったな、と思います。そんなお兄ちゃんが年長のときに満3歳児でしろさんとして、母と離れて園に通い出した☺は、お兄ちゃんがいることもあってか、泣いたり嫌がったりせず、とても楽しそうに幼稚園に通い始めました。

そこから、まったくと言っていいほど、心配なことがありません!!笑。ですので、この「おやおや」の執筆を依頼されたとき、真っ先に思い浮かんだのは「何書こう〜書くことない〜」でした。☺、ごめん。園から帰ってくると「早く幼稚園行きたい」土日になると「早く月曜日になって、幼稚園行きたい」本当にずっとそんな調子です、笑。

でもそんな☺も思い返せば、「今日嫌なことあった」とか「☺だけ誘われなかった」「好きな遊びができなかった」と言って悲しんでいる日や爪噛みをしている時期などがあり、☺なりにいろんなことを乗り越えてきたんだろうなと感じます。でも親としてとっても心配するような、手を出したくなるようなことは一切なく、親子共に、むらさきライフを満喫しています。

☺の唯一の心配事といえば「怪我」その一言に尽きます。年長になってからますます活発に動いているのだと思いますが、ターザンから落ちました。ジャングルジムから落ちて腰を打ちました。吊り輪から手を滑らせて落ちて顔を擦りむきました…etc。そんな連絡ばかりもらうので、「むらさき幼稚園」と着信画面に表示されると「え、また怪我!?」とドキッとしてしまいます。先生方もハラハラされていると思います、すみません。でも生まれたときから丈夫すぎる身体の持ち主で、擦り傷、切り傷で収まっています。女の子なのにひざがボロボロなのは気になりますが…。

そんな、あれやってみたい、これやってみたいと興味を持ったことに、なんでも挑戦する☺にはいつも驚かされています。雲梯ができるようになったり、自転車がこげるようになったり、キッシーができるようになったり。いつ見ても新しいことに挑戦して、何度もトライして、やりきるという姿を見せてくれています。☺のやる気や根気強さ、努力する姿勢に心から感心して、自分の娘ながらすごいな、と思うし、これが彼女の魅力であり、生き抜いていく力なのかなと思っています。

年長になってからは、すぐに代表に立候補し、もう2回も務めていて（「全部代表さんしたい」と言っています。母はコーラスが上手くなってきました！笑）粘土教室にも通い、幼稚園の一番年上だという気持ちからなのか物言いも大人びてきていて、生意気なところもありますが、そんな姿もかわいく愛しいです。

年少の頃から、毎日「今日何して遊んだん？」とか「幼稚園楽しかった？」とか聞くのですが、最近は「忘れた！」とか「覚えてない」とか言うことが多いです。でもときどき「○○ちゃんとケンカした」と言うことがあり、内容を聞くと本当に些細なことなのですが、「でもその後すぐ仲直りしてん」とか「ケンカしたけど、もう遊んでた！」とか言っていて、自分と友達の気持ちがぶつかり合ったときに、お互いが遠慮することなく言い合える友達関係が築けているんだなと思って、良かったな、ありがたいなと感じている日々です。

2歳のときに園庭をよちよちと歩いていた☺が、年長になっていろいろなことに挑戦して、友達と心から笑い合って幼稚園を楽しんでいる姿を見ると、本当に大きくなったんだなぁと感慨深いです。これもひとえに温かい眼差しで☺を見守ってくださっている先生方や周りの友達のおかげです。

そして、そんな☺と共に母もいい経験をさせてもらえて、成長したのかもしれないなと感じています。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

☺には、残りのむらさき幼稚園生活を思いっきり、全身全霊で楽しんでほしいです。